

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		11-	1
事業名	労働諸費	会計	款	項	目
		一般	5	1	1
施策	5	賑わうまち			
	5-1	働きがいのあるまちをつくる			
	5-1-4	勤労者福祉と雇用の充実			
主要施策	③勤労者福祉の充実				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	住民に身近で便利な共同福祉施設の運営をすることにより、住民福祉の向上を図ります。
事業内容	東員共同福祉施設管理事務・・・施設の効率的な運営を実現するため、指定管理者制度を活用する。 東員共同福祉施設施設整備事務 ・・・・中長期整備計画に基づいた計画的改修により利用者の安全安心を図る。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)	
指標	1	共同福祉施設利用件数	1,489	1,381	1,450	件	↑	1,600	
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成30年度(決算)		令和元年度(決算)	令和2年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B					9,334	47,188	43,795		
財源内訳	直接事業費 A				7,684	45,538	42,145		
	うち一般財源				6,350	10,915	6,899		
人件費(千円) B					1,650	1,650	1,650		
内訳	一般職員(人・千円)		0.25		1,650	0.25	1,650	0.25	1,650
	臨時職員(人・千円)		0		0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	施設の有効利用の促進、商工会との複合施設の改修調整(中長期整備計画に基づく施設の長寿命化)を図る必要がある。
②R1年度に実施した取り組み	施設の老朽化に伴う屋根・外壁等の改修工事、備品の更新を行った。	④今後の改善計画	他の公共施設との歩調を合わせた使用料の見直し、町と商工会との財政面を考慮した改修費用の平準化を図る。